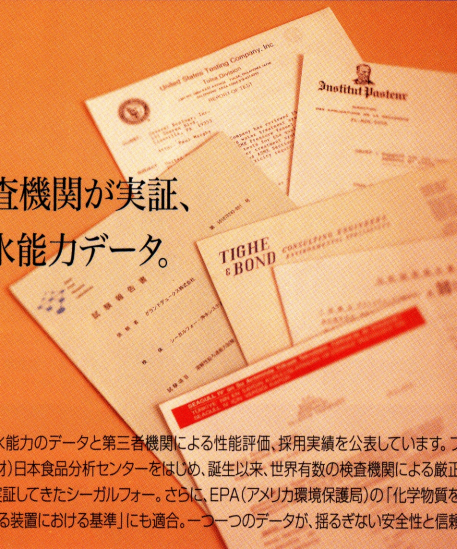


第三者検査機関が実証、 確かな浄水能力データ。



シーガルフォーは、浄水能力のデータと第三者機関による性能評価、採用実績を公表しています。フランスのパスツール研究所や(財)日本食品分析センターをはじめ、誕生以来、世界有数の検査機関による厳正な試験を繰り返し、浄水能力を実証してきたシーガルフォー。さらに、EPA(アメリカ環境保護局)の「化学物質を使用せず、有害な微生物を除去する装置における基準」にも適合。一つ一つのデータが、揺るぎない安全性と信頼の礎です。

日本食品分析センター<日本>

遊離残留塩素、濁り、総トリハロメタン、2-MIB(かび臭)、CAT(農薬)、溶解性鉛、ビスフェノールA、ニコチン溶解水の除去

日本冷凍食品検査協会<日本>

ダイオキシン類の除去

東京食品技術研究所<日本>

一般細菌、大腸菌、病原性ブドウ球菌の除去

北里環境科学センター<日本>

大腸菌O157の除去

アリゾナ大学<アメリカ>

EPA基準に基づくクレプトシエラ、テリジエナ、クリプトスピリウム、パーラム、オースト、ポリオウイルスタイプ1、ロタウイルスSA-11の除去*1

マリスタ大学<アメリカ>

PCB、クロロホルム、ジクロロエタンの除去

ヴィラバ大学<アメリカ>

EPA基準に基づく大腸菌、サルモネラ菌の除去

ハワイ大学<アメリカ>

殺虫剤(EDB、DBCP)の除去

フード・クオリティ・ラボ社<アメリカ>

ハワイ島各地の水からの鉛の除去

ベッツ・コンパース・マードック社(BCM)<アメリカ>

TCE(トリクロロエチレン)の除去

タイ&ボンド・コンサルティング・エンジニア社<アメリカ>

テミック(アルディカーブ)、EDB(エチレンジプロマイド)の除去

ウイスコンシン大学・マシン校食品検査研究所<アメリカ>

ラセン状菌属、空糸菌(カンピロバクター・ジューニ)、エルシニア属、大腸菌(エルシニア・エンテロコリチカ)、単球定殖ステリア(ステリア・モノサイトゲネス)の除去

マイアミ大学・フィールド疫学調査チーム<アメリカ>

有害細菌数種類、エヴァグレス湿地帯の池水及び井戸水からの細菌の除去*2

アナリティカル・コンサルティング・サービス社<アメリカ>

カドミウム、鉛、水銀、メチル水銀、砒素の除去

米国陸軍病理学調査開発研究所<アメリカ>

バイロゲン発熱体の除去*2

*1: 米国ゼネラルエコロジー社製品「フレキシ・ピュア」による試験結果

*2: 米国ゼネラルエコロジー社製品 ポータブル浄水システム「ファーストノード」による試験結果

*3: 米国ゼネラルエコロジー社製品 産業用浄水システム「スパーク・エル・ピュア」「アクア・ポリッシュ」による試験結果

ゼネラル・ユーティリティ・プロジェクト社<イギリス>

テムズ川河川水からの大腸菌、色度、濁度の除去

パスツール研究所<フランス>

緑膿菌、ネズミチフス菌、大腸菌K8.8、大腸菌K9.9、黄色ブドウ球菌、肺炎連鎖球菌、オガココレラ菌、イナバコレラ菌の除去

コロラド州立大学・獣医学生物医学サイエンス学部病理学科<アメリカ>

ランブル鞭毛虫(シアージャアシスト)の除去*3

ローマ市保健課<イタリア>

細菌6種の除去*2

パヴィア大学<イタリア>

大腸菌、サルモネラ菌の除去

クライス・パインブルグ<ドイツ>

ジクロロプロパン、大腸菌の除去

スペクトラム研究所<アメリカ>

NSF基準53に基づくシスト、濁度の除去

ロイ・F・ウェストン社<アメリカ>

デラウェア川河川水からの細菌、色度、濁度の除去

アテネ衛生大学・微生物学部<ギリシャ>

自由塩素、大腸菌、シュードモナス菌、有機栄養菌の除去

ユナイテッドステイツ・テストングカンパニー社<アメリカ>

鉛、水銀、クロム、カドミウム、フェノール類、トリハロメタン(クロホルム)、塩化ビニール、色度、味、3TON(臭気強度)、アンチモン、砒素、バリウム、セレン、銅、pH値、全溶解固定物(TDS)の除去

イスタンブール市保健事業管理局研究所<トルコ>

有害細菌、クレプトシエラ菌、大腸菌、塩素、硫化水素、メチレンブルー染料、アスベスト(石綿)、砒素、カドミウム、鉛、水銀、メチル水銀、濁度の除去

中東工科大学・環境技術部<トルコ>

細菌3種、化学物質2種、その他の除去

アリステル大学<ギリシャ>

色度、pH値、伝導率、鉛、カドミウム、水銀、クロム、自由塩素、総有機炭素類、砒素、鉄、マンガン、濁度、フェノール類、MBASの除去

Color: 6

安心と心地よさ
心ゆくたかな暮らしに
いちばん大切なもの

